

「自分を知る」パートⅡ



3月12日（金）に実施されました小松教育相談課長の講義は、長期研修生の希望により、昨年10月に実施した「自分を知る」の内容を基にした話となりました。用意されたプレゼン資料には、これまでの自身の失敗談を織り交ぜながら、リフレーミングやエゴグラムなど、教育相談に

関する内容が示され、学校教育における教育相談の重要性が理解できる45分となりました。

長期研修生からは、「私達は多くの『失敗』を経験して成長していくことを、改めて認識する機会となった。エゴグラムについては、校内研修で活用するなど、多くの先生に広めていきたい。」との感想が聞かれました。

工夫するのは「伝え方」「広め方」

小松課長と同日に実施されました渡邊情報教育課長の講義は、渡邊課長自身が寄稿した研究紀要の内容にも触れながら、今後の長期研修生の研究の進め方や、教育全般の変革の方向性など、幅広い視点からのお話となりました。長期研修生に問いかけ、長期研修生の意見や思いを引き出し、一人の教員として今後どうあるべきかを長期研修生自身に気付かせていく45分となりました。



長期研修生からは、「自身の研究において、励ましのお言葉をたくさんいただき、嬉しかった。すべてを自分一人を進めるのではなく、多くの人からの協力を得ながら、研究内容を伝え、広めていくことの大切さを理解することができた。今後は小中のみでなく、高校や大学の動向にも目を向けていくようにしたい。」との感想が聞かれました。